

# 知っていますか？ 認知症のこと

認知症は65歳以上の10人に1人、85歳以上の4人に1人になるといわれる身近な病気です。

## 認知症とは

脳は、記憶・感覚・思考・感情・体全体の調節といった、生きていくために必要なほとんどの働きをコントロールしています。  
認知症とは、脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりしたために、さまざまな障がいが起こり、生活するうえで支障が出ている状態のことをいいます。

## 認知症の症状

認知症の症状は次のような「中核症状」と「行動・心理症状」の大きく2つに分けられます。このうち「行動・心理症状」は、周囲の人の助けや接し方で症状をやわらげることが可能です。

### 中核症状

脳の細胞が機能しなくなること起こる症状

- ・ 覚えられない
- ・ すぐ忘れてしまう
- ・ 月日や年月、場所、人が分からなくなる
- ・ 2つ以上のことが重なるとう理解できなくなる
- ・ 考えるスピードが遅くなる
- ・ 日常生活に必要な作業がこなせなくなる

### 行動・心理症状

心の状態や性格、人間関係、生活環境によって出てくる症状

- ・ 自信を失いすべてが面倒になる
- ・ 排せつの失敗など、身の回りのことが自分でできなくなる
- ・ 記憶障害により財布や通帳などの置き場所が分からなくなり、身近な家族に盗まれたと思込む

## 大切な早期診断・早期治療

認知症の原因となる病気の中には、早期に治療すれば治るものもあります。あるいは治すことはできないとしても、再発を防いだり、進行を遅らせたたりすることができるともあります。

認知症は、症状が軽い段階で分ければ治療効果が高いといわれますが、初期ほど診断が難しいため、もの忘れ外来、神経内科、精神科などの専門の医師の診察を受けることが重要となります。

## 理解を広めるために

認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族をできる範囲で支援していただくため、各地域の高齢者サロンや人権学習会、小・中学校で、認知症の学習会を開催しています。認知症について考え、支えあいの輪を広げていきましょう。



▲オレンジリングは認知症の人と家族を支援する「認知症サポーター」の証



▲キャラバンメイト（認知症学習会の講師役）による地域福祉講座での寸劇



▲認知症専門指導師による中学3年生を対象とした認知症学習会

### 日野中学校認知症学習会アンケートより

- 認知症の人は私の身近にはいないけど、もしそういう人がいたら、その人にどう接したらいいか話を聞いてわかりました。
- 認知症は身近におこるかもしれないことなんだなあと思った。家族や身近にいる人がなったら今日聞いた話をもとに接したい。
- 否定的な態度はダメだなあと思っています。怒ってしまうのは、きっと認知症の前と後のその人のギャップを感じてしまいがち、以前できた事をできないその人にいら立ちを感じるのだと思います。